

---

# ハイブリッドサービスについて (サービス概要・設定など)

日本医師会ORCA管理機構株式会社  
2024.06.18



# ハイブリッドサービス

---

## ■目次

1. サービス概要
2. サービス機能詳細
3. 運用フロー
4. クライアント管理画面
5. 利用想定

## 【重要】

本資料について2024.6.17時点の情報となります。

随時、資料などはアップデートをおこない、最新の情報はメーリングリスト等でご案内をおこなっていきます。

最新情報を注視していただきますようお願いします。

# ハイブリッドサービス

---

## ■ サービス概要

- 運用中のシステムが利用できなくなった場合、本サービスで提供する「応急措置環境」を稼働させることで、継続利用することが可能となります。
- 「クラウド応急措置環境」は「WebORCAクラウド運用環境」とは別リージョンのクラウド基盤で稼働しているため、リージョン単位の障害が発生した場合にも利用を継続することが可能です。
- データについて完全な状態を保証するサービスではありませんのでご注意ください。

# ハイブリッドサービス

---

## ■ 運用環境がクラウド環境の場合のサービス機能詳細

### • 自動バックアップおよびクラウド応急措置環境へアップロード

WebORCAクラウドのサーバにて1日1回ダンプファイルが生成されます。

院内の端末に設定するハイブリッド常駐ソフトが1時間間隔でWebORCAクラウドへ新しいダンプファイルが存在しているかチェックし、新しいダンプファイルがあればローカルのフォルダにダウンロードし、クラウド応急措置環境へアップロードされます。

※

バックアップは1日1回、夜間におこなわれます。

そのため、バックアップ後に運用環境で登録された情報は、後述のクラウド応急措置環境もしくはローカル応急措置環境には展開されません。

クラウド応急措置環境もしくはローカル応急措置環境では運用環境とは差分が生じている可能性があります。

### • クラウド応急措置環境

WebORCAクラウド運用環境が稼動しているクラウド基盤とは別環境にて一時的にクラウド環境を起動させ、バックアップを反映させることで利用可能となる

### • ローカル応急措置環境

院内で利用しているパソコンに、一時的にWebORCAを起動させ、バックアップを反映させることで利用可能

### • 差分コピーツール

WebORCAクラウド運用環境復旧後、応急措置環境で入力した内容をWebORCAクラウド運用環境へコピーするツール

※

差分コピーツールは、クラウド応急措置環境もしくはローカル応急措置環境に新規に登録した情報を補間するものです。

過去履歴を修正されても通常運用環境には反映されません。

# ハイブリッドサービス

---

## ■ 運用環境がオンプレ環境の場合のサービス機能詳細

### • 自動アップロード

1時間間隔でバックアップフォルダにあるlatest.dump.localファイルが存在しているかチェックし、新しいlatest.dump.localファイルが存在している場合は、クラウド応急措置環境にアップロードをおこなう。

アップロード後、バックアップフォルダにあるlatest.dump.localファイルはlatest.dumpにリネームをおこなう。

### • クラウド応急措置環境

WebORCAクラウド運用環境が稼動しているクラウド基盤とは別環境にて一時的にクラウド環境を起動させ、バックアップを反映させることで利用可能となる

### • ローカル応急措置環境

院内で利用しているパソコンに、一時的にWebORCAオンプレを起動させ、バックアップフォルダにあるlatest.dumpを反映させて利用可能となる

### • 差分コピーツール

オンプレ環境復旧後、応急措置環境で入力した内容をコピーするツール

※

差分コピーツールは、応急措置環境に新規に登録した情報を補間するものです。

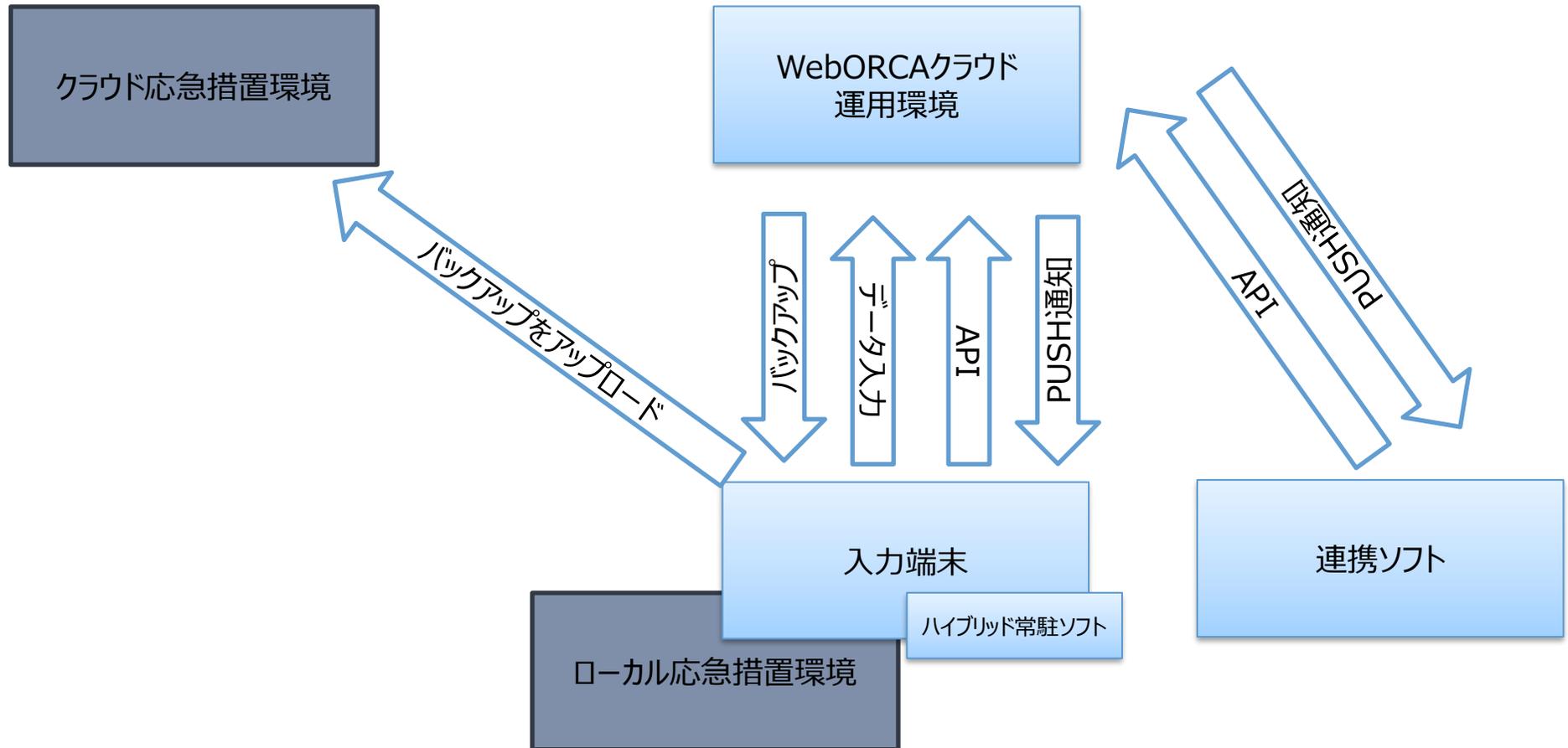
過去履歴を修正されても通常運用環境には反映されません。

---

# ハイブリッドサービス WebORCAクラウド時の運用フロー

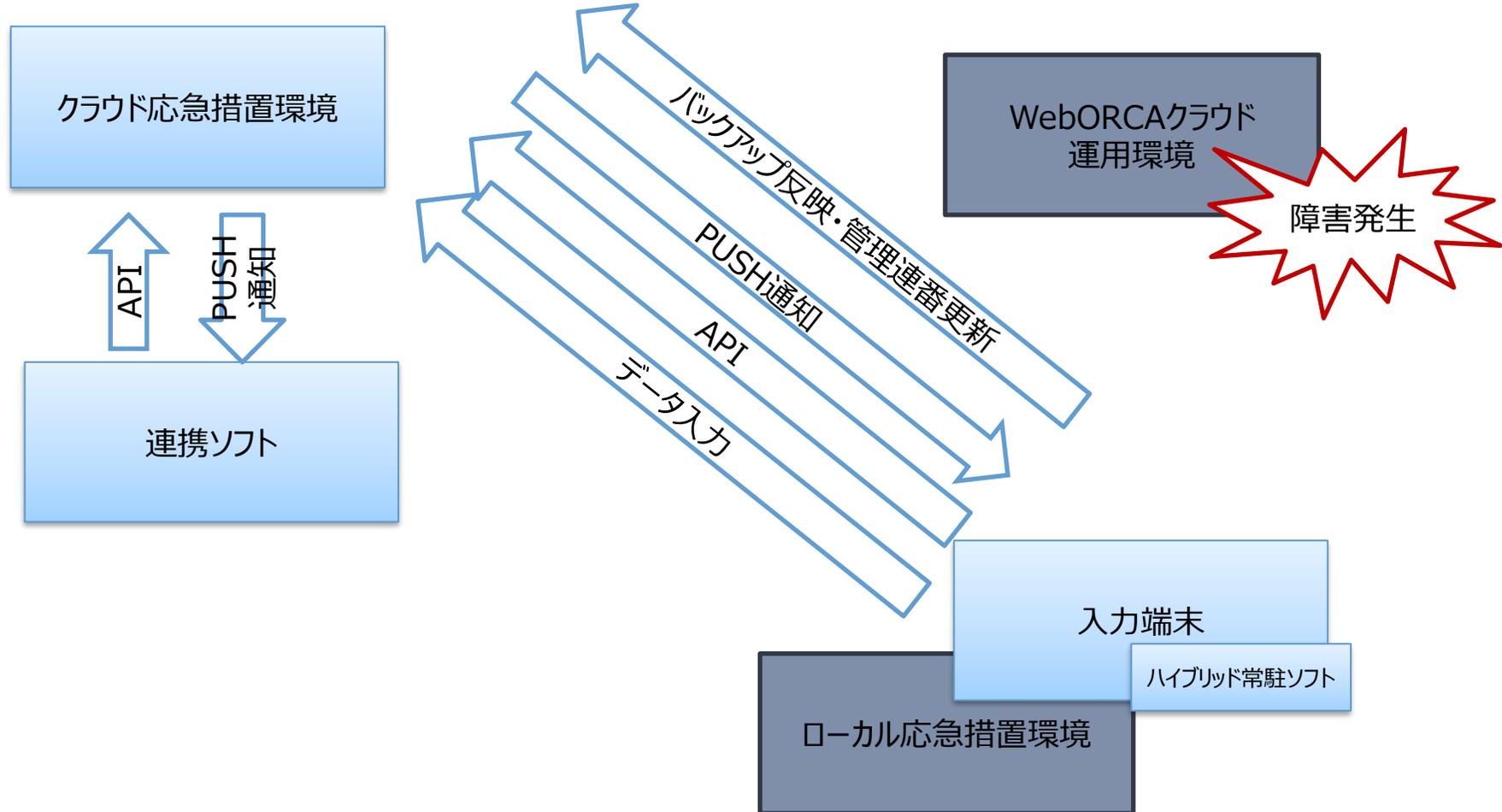
# ハイブリッドサービス WebORCAクラウド版

運用フロー：通常時



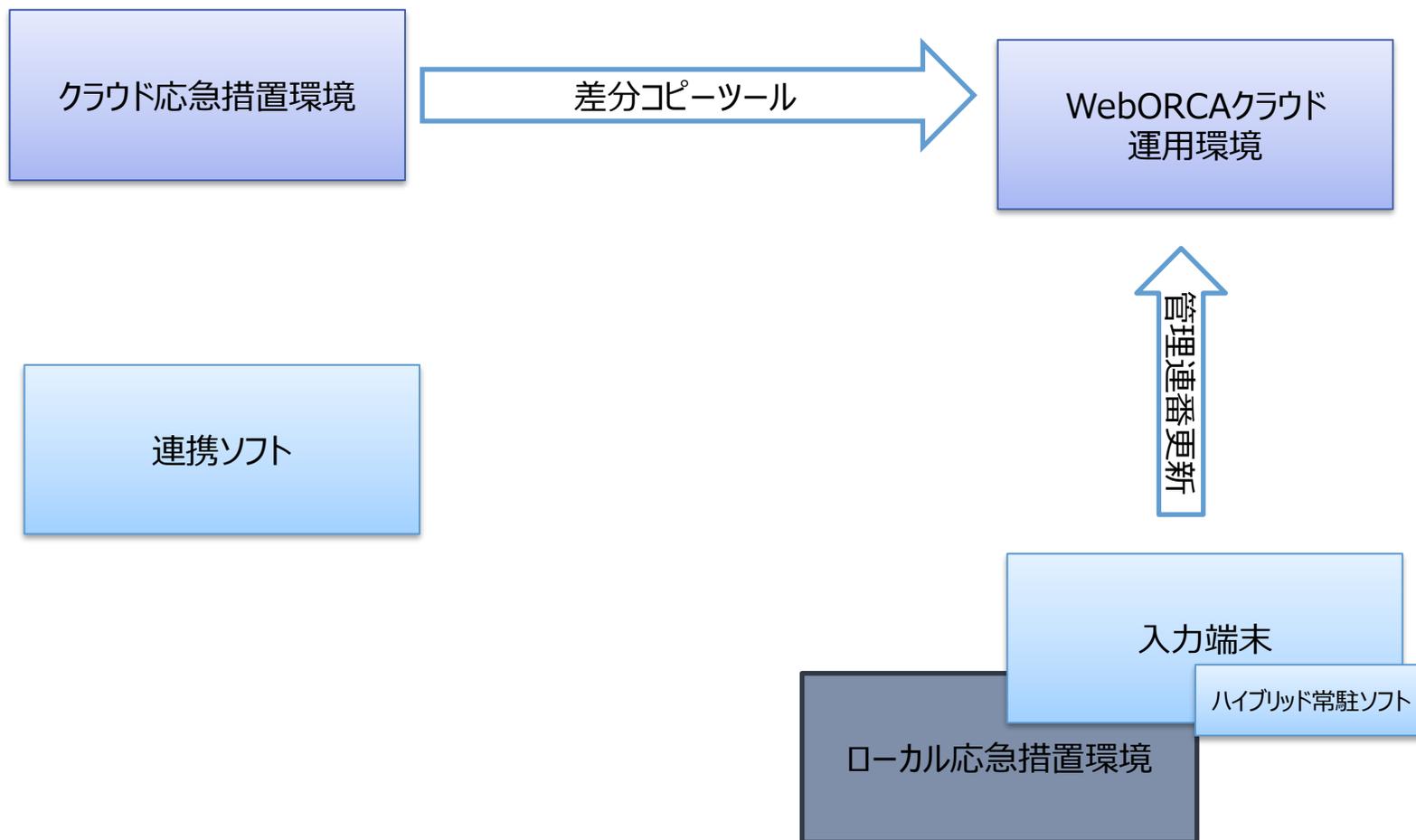
# ハイブリッドサービス WebORCAクラウド版

運用フロー：クラウド応急措置モード切り替え時



# ハイブリッドサービス WebORCAクラウド版

運用フロー：復旧措置モード切り替え時

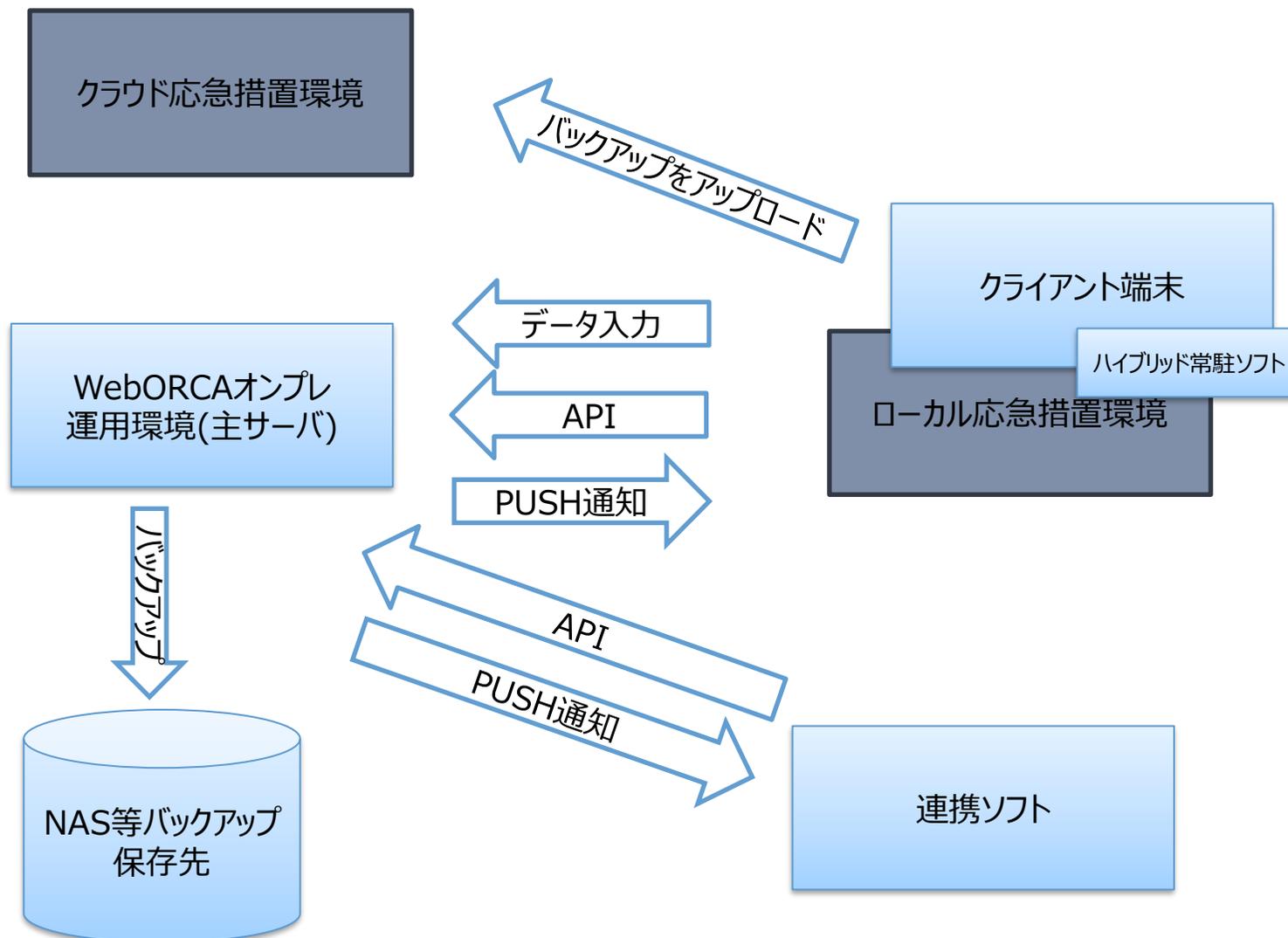


---

# ハイブリッドサービス WebORCAオンプレ時の運用フロー

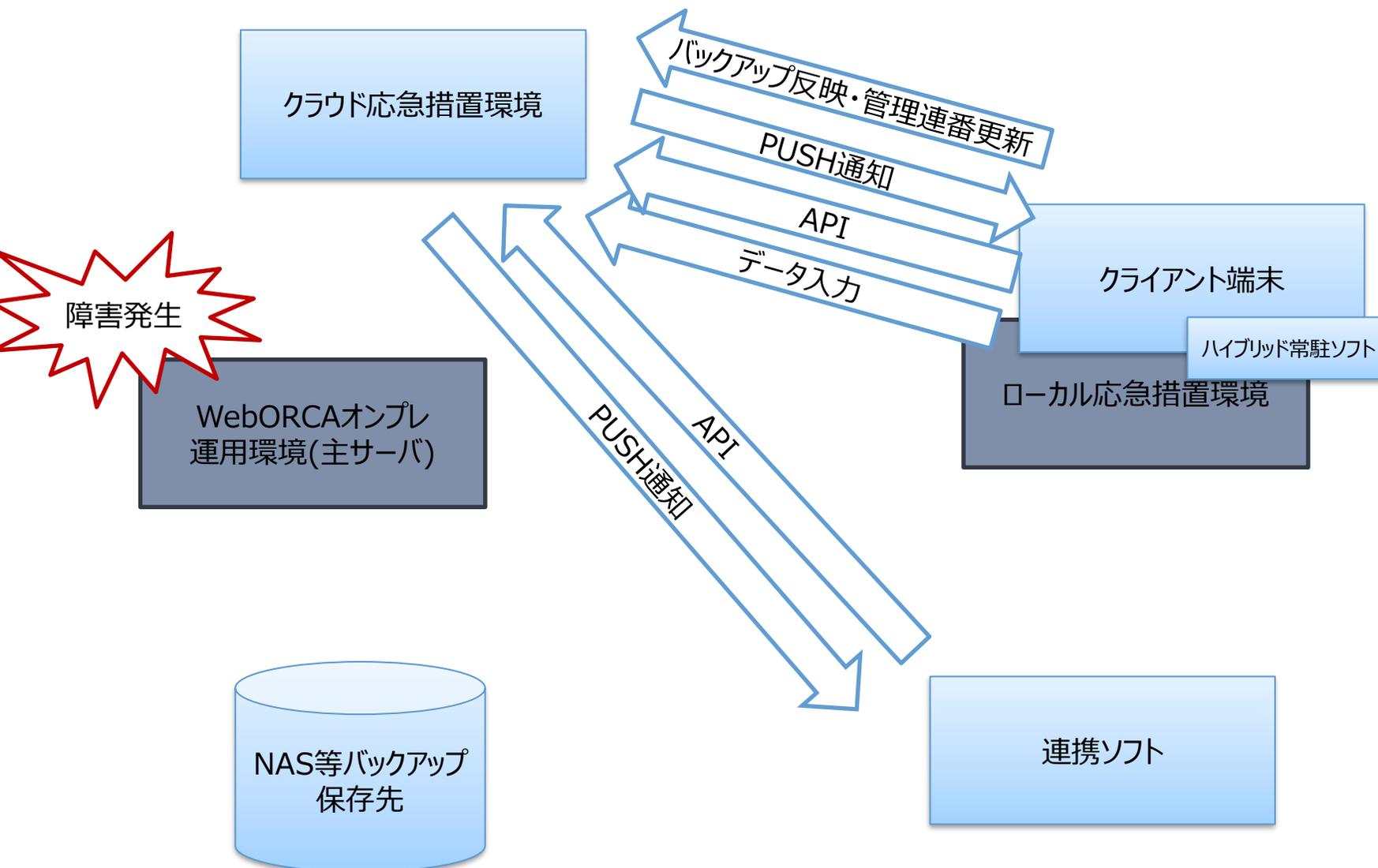
# ハイブリッドサービス WebORCAオンプレ版

運用フロー：通常時



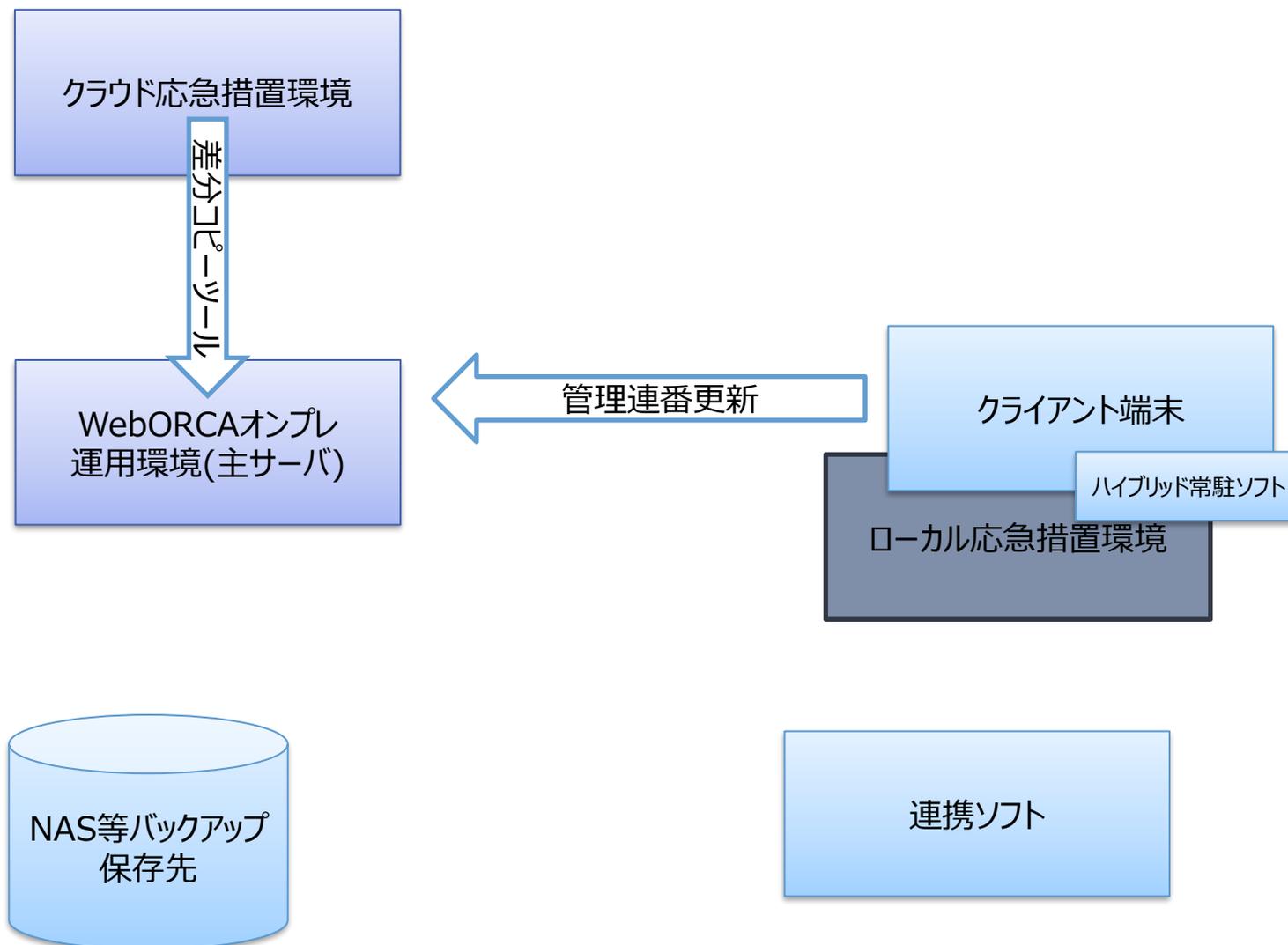
# ハイブリッドサービス WebORCAオンプレ版

運用フロー：クラウド応急措置モード切り替え時



# ハイブリッドサービス WebORCAオンプレ版

運用フロー：復旧措置モード切り替え時



# ハイブリッドサービス 管理画面

127.0.0.1:8800/hybrid

WebORCAステージング クラウド措置環境 restart

Hybrid WebORCA 運用環境使用中 運用環境が利用できない時にClick 設定

### 運用環境

接続先: <https://stg-weborca.cloud.orcamo.jp>  
接続状況: **オンライン**

管理連番を更新 外来伝票: 00001102  
(2023/12/05 16:20:40 時点) 入院伝票: 00000489  
患者連番: 0000000000

### クラウド応急措置環境

接続先: <https://hybrid-weborca.cloud.orcamo.jp>  
接続状況: **オンライン** (前回反映: 2023/12/05 13:57:54)

バックアップから反映 最新のバックアップを応急措置クラウドに反映します  
管理連番を更新 外来伝票: 00001101  
(2023/12/05 16:20:40 時点) 入院伝票: 00000489  
患者連番: 0000000000

バックアップを取得 データをバックアップしてダウンロード

### ローカル応急措置環境

接続先: <http://127.0.0.1:8000>  
接続状況: **オンライン** (前回反映: 2023/12/05 15:37:53)

### 差分コピーツール

コピー元: クラウド応急措置環境 → コピー先: 運用環境  
差分コピーツール 応急措置環境で入力した情報を運用環境へ反映

### バックアップ情報

保存先: C:\Users\weborcahybrid01\Documents\backup  
バックアップフォルダ: **アクセス可能**

1	latest.dump (最新 2023/12/05 14:32:14)
2	20231205135555.dump
3	20231205135528.dump

### ▼ コンソール

```
STEP 26/26: ENTRYPOINT /tmp/entrypoint.sh & bash
```

※画面は開発中のものです。仕様は予告なく変更されます。

# ハイブリッドサービス 管理画面

The screenshot shows the Hybrid WebORCA management interface. The browser address bar shows '127.0.0.1:8800/hybrid'. The page title is 'Hybrid WebORCA'. The interface is divided into several sections:

- ①** Top navigation bar: 'WebORCAステージング', 'クラウド措置環境', 'restart', and a '設定' (Settings) button.
- ②** Status bar: '運用環境使用中' (Operational Environment in Use) and a warning '運用環境が利用できない時にClick' (Click when the operational environment is unavailable).
- ③** 運用環境 (Operational Environment) section: Shows connection details for 'stg-weborca.cloud.orcamo.jp', status 'オンライン' (Online), and management buttons like '管理連番を更新' (Update Management ID).
- ④** クラウド応急措置環境 (Cloud Emergency Response Environment) section: Shows connection details for 'hybrid-weborca.cloud.orcamo.jp', status 'オンライン' (Online), and buttons for 'バックアップから反映' (Reflect from Backup) and 'バックアップを取得' (Get Backup).
- ⑤** ローカル応急措置環境 (Local Emergency Response Environment) section: Shows connection details for '127.0.0.1:8000', status 'オンライン' (Online), and a '選択' (Select) button.
- ⑥** 差分コピーツール (Difference Copy Tool) section: Shows 'コピー元: クラウド応急措置環境 → コピー先: 運用環境' and a '差分コピーツール' button.
- ⑦** バックアップ情報 (Backup Information) section: Shows '保存先: C:\Users\iweborca\hybrid01\Documents\backup' and a list of backup files.
- ⑧** コンソール (Console) section: Shows terminal output for 'ENTRYPOINT /tmp/endpoint.sh & bash'.

- ①稼動している環境を表示
- ②運用環境、応急措置環境、復旧措置切り替えボタン
- ③運用環境のステータス表示
- ④クラウド応急措置環境のステータス表示
- ⑤ローカル応急措置環境のステータス表示
- ⑥差分コピーツール
- ⑦バックアップ情報
- ⑧設定画面

※画面は開発中のものです。仕様は予告なく変更されます。

# ハイブリッドサービス 管理画面

127.0.0.1:8800/hybrid/setup

クラウドprod  クラウドfstg  クラウドdemo  クラウドtest  WAF  WebORCAオンプレ  拡張  ChromeURLs  127.0.0.1:8800/hybrid  クラウド応急措置  ローカル応急措置

## Hybrid WebORCA 各種設定 閉じる

### 設定編集

#### 基本設定

ホスト:

APIキー:

バックアップキー:

バックアップパス:

ORCAユーザー(API):

ORCAパスワード(API):

クライアント証明書:

証明書パスワード:

CA証明書:

使用する応急処置環境:

FAWebORCAクラウドホスト:

FAWebORCAローカルホスト:

バックアップキーの指定が必要  
※システム管理サイトにて確認可能

#### ローカル仮想環境設定

仮想環境メモリ(GB):  2GB

仮想環境ストレージ(GB):  20GB

※画面は開発中のものです。仕様は予告なく変更されます。



# ハイブリッドサービス 管理画面

127.0.0.1:8800/hybrid

WebORCAステージング クラウド措置環境 restart

Hybrid WebORCA 運用環境使用中

運用環境が利用できない時にClick

ここをクリック

設定

### 運用環境

接続先: <https://stg-weborca.cloud.orcamo.jp>  
接続状況: **オンライン**

管理連番を更新 外来伝票: 00001102  
(2023/12/05 16:20:40 時点) 入院伝票: 00000489  
患者連番: 0000000000

### クラウド応急措置環境

接続先: <https://hybrid-weborca.cloud.orcamo.jp>  
接続状況: **オンライン** (前回反映: 2023/12/05 13:57:54)

バックアップから反映 最新のバックアップを応急措置クラウドに反映します  
管理連番を更新 外来伝票: 00001101  
(2023/12/05 16:20:40 時点) 入院伝票: 00000489  
患者連番: 0000000000

バックアップを取得 データをバックアップしてダウンロード

### ローカル応急措置環境

接続先: <http://127.0.0.1:8000>  
接続状況: **オンライン** (前回反映: 2023/12/05 15:37:53)

### 差分コピーツール

コピー元: クラウド応急措置環境 → コピー先: 運用環境  
差分コピーツール 応急措置環境で入力した情報を運用環境へ反映

### バックアップ情報

保存先: C:\Users\weborcahybrid01\Documents\backup  
バックアップフォルダ: **アクセス可能**

1	latest.dump (最新 2023/12/05 14:32:14)
2	20231205135555.dump
3	20231205135528.dump

▼ コンソール

```
STEP 26/26: ENTRYPOINT /tmp/entrypoint.sh & bash
```

※画面は開発中のものです。仕様は予告なく変更されます。

# ハイブリッドサービス 管理画面

The screenshot displays the Hybrid WebORCA management interface. At the top, the browser address bar shows '127.0.0.1:8800/hybrid'. The page header includes the 'Hybrid WebORCA' logo, a '運用環境使用中' (Operational Environment in Use) status, and a red warning button that says '運用環境が利用できない時にClick' (Click when the operational environment is unavailable). A '設定' (Settings) button is located in the top right corner.

The main content area is divided into several sections:

- 運用環境 (Operational Environment):** Shows connection details for 'https://stg-weborca.cloud.orcamo.jp'. The status is 'オンライン' (Online). It includes a '管理連番を更新' (Update Management ID) button and a table of IDs: 外来伝票 (00001102), 入院伝票 (00000489), and 患者連番 (0000000000). A timestamp '(2023/12/05 16:20:52 時点)' is also present.
- クラウド応急措置環境 (Cloud Emergency Response Environment):** Shows connection details for 'https://hybrid-weborca.cloud.orcamo.jp'. The status is 'オンライン' (Online). It includes a 'バックアップから反映' (Reflect from Backup) button, a '管理連番を更新' (Update Management ID) button, and a table of IDs: 外来伝票 (00001102), 入院伝票 (00000489), and 患者連番 (0000000000). A timestamp '(2023/12/05 16:20:52 時点)' is also present. A 'バックアップを取得' (Get Backup) button is at the bottom.
- ローカル応急措置環境 (Local Emergency Response Environment):** Shows connection details for 'http://127.0.0.1:8000'. The status is 'オンライン' (Online). A '選択' (Select) button is located to the right.
- 差分コピーツール (Difference Copy Tool):** Shows 'コピー元: クラウド応急措置環境 → コピー先: 運用環境' and a '差分コピーツール' button.
- バックアップ情報 (Backup Information):** Shows '保存先: C:\Users\weborcahybrid01\Documents\backup'.

A modal dialog box is overlaid on the screen with the following text:

応急措置モードに切り替えます。  
応急運用を開始する前に管理連番を確認して必要であれば更新してください。  
また、管理連番を確認後、周辺連携システムも応急環境へ接続する場合は担当者へご連絡ください。

The dialog has two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '切り替える' (Switch).

At the bottom of the page, a console window is visible with the text: 'STEP 26/26: ENTRYPOINT /tmp/entrypoint.sh & bash'.

※画面は開発中のものです。仕様は予告なく変更されます。

# ハイブリッドサービス WebORCAクラウド版

The screenshot displays the Hybrid WebORCA management interface. At the top, a browser window shows the URL 127.0.0.1:8800/hybrid. The interface header includes the Hybrid WebORCA logo and a red banner indicating '応急措置環境使用中' (Emergency environment in use). A green notification box states '✓ 応急措置運用モードに切り替えました' (Switched to emergency operation mode). The main content area is divided into several sections:

- 運用環境 (Operational Environment):** Shows connection details for 'stg-weborca.cloud.orcamo.jp' with a status of 'オンライン' (Online). It includes fields for management ID (00001102), external ID (00001102), hospital ID (00000489), and patient ID (0000000000).
- クラウド応急措置環境 (Cloud Emergency Environment):** Currently selected, showing connection details for 'hybrid-weborca.cloud.orcamo.jp' with a status of 'オンライン' (Online). It includes a 'バックアップから反映' (Reflect from backup) button and a 'バックアップを取得' (Get backup) button.
- ローカル応急措置環境 (Local Emergency Environment):** Shows connection details for '127.0.0.1:8800' with a status of 'オンライン' (Online).
- バックアップ情報 (Backup Information):** Lists backup files in a table:

Backup File	Timestamp
1 latest.dump	(最新 2023/12/05 14:32:14)
2 20231205135555.dump	
3 20231205135528.dump	

The bottom section shows a terminal window with the command 'STEP 26/26: ENTRYPOINT /tmp/entrypoint.sh & bash'.

※画面は開発中のものです。仕様は予告なく変更されます。

# ハイブリッドサービス WebORCAクラウド版

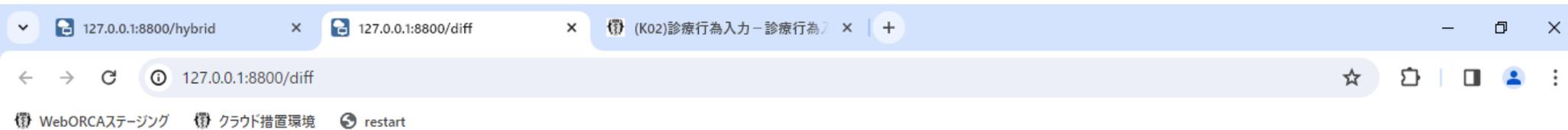
The screenshot displays the Hybrid WebORCA management interface. At the top, there's a navigation bar with the title "Hybrid WebORCA" and a "復旧措置中" (Recovery in progress) status. A green notification box in the center says "✓ 復旧モードに切り替えました" (Switched to recovery mode). The main content is divided into several sections:

- 運用環境 (Operational Environment):** Shows connection details for "https://stg-weborca.cloud.orcamo.jp". The status is "オンライン" (Online). A "管理連番を更新" (Update management ID) button is present, with a timestamp of (2023/12/05 16:23:10 時点). Input fields for "外来伝票" (00001102), "入院伝票" (00000489), and "患者連番" (0000000000) are visible.
- クラウド応急措置環境 (Cloud Emergency Environment):** Status is "オンライン" (Online) with a timestamp of (2023/12/05 13:57:54). It includes a "バックアップから反映" (Reflect from backup) button and a "バックアップを取得" (Get backup) button. Input fields for "外来伝票" (00001103), "入院伝票" (00000489), and "患者連番" (0000000000) are present.
- ローカル応急措置環境 (Local Emergency Environment):** Status is "オンライン" (Online) with a timestamp of (2023/12/05 15:37:53). A "選択" (Select) button is shown.
- バックアップ情報 (Backup Information):** Shows the save path "C:\Users\weborcahybrid01\Documents\backup" and a "バックアップフォルダ" (Backup folder) status of "アクセス可能" (Accessible). A table lists backup files:

1	latest.dump (最新 2023/12/05 14:32:14)
2	20231205135555.dump
3	20231205135528.dump
- コンソール (Console):** Shows the command prompt output: "STEP 26/26: ENTRYPOINT /tmp/entrypoint.sh & bash".

※画面は開発中のものです。仕様は予告なく変更されます。

# ハイブリッドサービス WebORCAクラウド版



## Hybrid 差分コピーツール

2023/12/05

クラウド応急処置環境 **オンライン**

【外来伝票】 1103 【患者連番】 0

運用環境 **オンライン**

【外来伝票】 1102 【患者連番】 0

コピー可	患者番号	更新時刻	名前(年齢)	病名	受診科	伝票番号(連番)	→	名前(年齢)	病名	受診科	伝票番号(連番)
	00020	14:04:53	テスト 2 0 (23) (初回)		内科	0001101 (1)		テスト 2 0 (23) (初回)		内科	0001102 (1)
○	00001	16:21:45	テスト 1 (23)	肺炎	内科	0001102 (1)		テスト 1 (23)	肺炎		
○	00002	16:22:02	後期 2 割(103)		内科	0001103 (1)		後期 2 割(103)			

リストを更新

排他情報のみ更新

リスト更新時刻 16:23:27

比較する

コピー開始

コピー可 2 件

時間外区分

※画面は開発中のものです。仕様は予告なく変更されます。



# ハイブリッドサービス WebORCAクラウド版

127.0.0.1:8800/hybrid x 127.0.0.1:8800/diff x (K02)診療行為入力-診療行為 x +

127.0.0.1:8800/diff

WebORCAステージング クラウド措置環境 restart

## Hybrid 差分コピーツール

2023/12/05

クラウド応急処置環境 **オンライン**

【外来伝票】 1103 【患者連番】 0

運用環境 **オンライン**

【外来伝票】 1103 【患者連番】 0

コピー可	患者番号	更新時刻	名前(年齢)	病名	受診科	伝票番号(連番)	→	名前(年齢)	病名	受診科	伝票番号(連番)
	00020	14:04:53	テスト 2 0 (23) (初回)		内科	0001101 (1)		テスト 2 0 (23) (初回)		内科	0001102 (1)
	00001	16:21:45	テスト 1 (23)	肺炎	内科	0001102 (1)		テスト 1 (23)	肺炎	内科	0001103 (1)
○	00002	16:22:02	後期 2 割(103)		内科	0001103 (1)		後期 2 割(103)			

リストを更新

排他情報のみ更新

リスト更新時刻 16:24:04

比較する

コピー開始

コピー可 1 件

時間外区分

【00001 テスト 1】の比較結果

【患者情報】

項目名	クラウド応急処置環境	運用環境
違いはありません		

▼ 違いはありません

[0]

[1]

【病名】

項目名	クラウド応急処置環境	運用環境
違いはありません		

▼ 違いはありません

[0]

[1]

【診療行為】

項目名	クラウド応急処置環境	運用環境
伝票番号	0001102	0001103
伝票番号	0001102	0001103

▼ Invoice\_Number

[0] 0001102

[1] 0001103

▼ Cd\_Sub\_Information2

▼ Cd\_Sub\_Info2

▼ 0

▼ Sub\_Change\_Info

▼ Sub\_Invoice\_Number

※画面は開発中のものです。仕様は予告なく変更されます。



# ハイブリッドサービス WebORCAクラウド版

---

## ■ 利用想定

- WebORCAクラウド運用環境のクラウド基盤にて障害が発生し、WebORCAクラウドサービス停止となった場合
- 院内のインターネットに障害が発生し、WebORCAクラウド運用環境へ接続できない場合
  1. 応急措置モードに切り替える
  2. クラウド応急措置環境もしくはローカル応急措置環境へバックアップを反映させる
  3. 管理連番(外来伝票番号、入院伝票番号、患者連番)を更新
  4. 応急措置環境に接続し、通常通り入力をおこなう
  5. WebORCA運用環境が復旧したら・・・
  6. 復旧措置モードに切り替える
  7. 差分コピーツール実行のため患者連番最大値および伝票番号最大値の管理番号の更新をおこなう。
  8. 差分コピーツールを利用し、応急措置環境に入力された内容をコピーする。
  9. 通常運用モードへ切り替える。

# ハイブリッドサービス WebORCAクラウド版

	6時	7時	8時	9時	10時	11時
WebORCAクラウド 運用環境		通常運用 外来伝票：60 入院伝票：20 患者連番：110			復旧措置モードに切り替え  クラウド応急措置環境に入力した内容をコピーするため管理連番を更新 外来伝票：70 入院伝票：70 患者連番：120  差分コピーツールでクラウド応急措置環境に入力した内容をコピー	通常運用
クラウド応急措置環境			応急措置モードに切り替え  前日分のバックアップを復元  障害発生までの入力分とのバッティングを避けるため管理連番を更新 外来伝票：60 入院伝票：20 患者連番：110	入力 外来伝票：70 入院伝票：70 患者連番：120		
院内端末	前日分までにバックアップダウンロード 外来伝票：50 入院伝票：10 患者連番：100					

# ハイブリッドサービス WebORCA

---

## ■ 留意事項

- 応急措置環境へ切り替えた際、接続の変更が必要です。
  - オン資
  - push-exchangerによりプラグインを利用している場合(帳票プラグイン/CLAIMプラグイン)
  - 電子カルテ、連携機器

切り替え時の運用について、医療機関、連携メーカー、WebORCAクラウドサポートベンダーにて整理をしていただきますようお願いいたします。

- 差分コピーツールは応急措置環境と運用環境を比較して患者情報、診療行為情報、患者病名情報をコピーするツールとなります。差分比較には受診履歴を利用します。患者登録のみ、訂正、氏名変更した場合にはコピーはできません。

完全な形でデータを保証するものではありませんので、補助ツールとしてご利用ください。

# ハイブリッドサービス WebORCA

## ■ 留意事項

- 本サービスの利用タイミングは「障害発生時」であると思われます。  
障害発生時には混乱している最中に本サービスの切り替え等をおこなっていただくこととなりますので、本サービスを利用される場合には、定期的にテスト運用をおこない、正しく利用できることを確認してください。
- API実行時に接続している環境がどのモードで動いているかレスポンスヘッダーで確認が可能です。目安としてお考えください。

ヘッダー名： X-Hybridmode

	通常	応急措置モード	復旧措置モード
運用環境	normal	emergency	recovery
応急措置環境	normal-fa	emergency-fa	recovery-fa